

医療倫理学

責任者・コーディネーター	生体防御学講座 大橋 綾子 教授		
担当講座・学科(分野)	微生物薬品創薬学講座、臨床薬剤学講座、薬剤治療学講座、薬物代謝動態学講座、分子生物薬学講座、生体防御学講座、臨床医化学講座、神経科学講座、創剤学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 13.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

現代医療の直面する倫理的な問題は、生命科学の著しい進展や社会の変化により複雑にまた多様になってきている。本講義では、薬学を学ぶ者として将来関わっていく生命倫理・医療倫理について、その歴史や現状を学ぶ。

・一般目標（GIO）

現代医療における倫理的な問題（インフォームドコンセント・告知などの基本的諸概念、移植医療・生殖医療・ターミナルケア等の現状、脳死・安楽死・遺伝子診断等の生命の判定に関わる指針など）を理解し、薬学を学ぶ者としての見解や心構えをもつことを目標とする。また、薬剤師や薬学研究者などとして将来活躍できるように、先端医療・創薬研究・医薬品製造販売・医療行政における生命倫理・医療倫理の現状と課題を知り、生涯学習の基本となる知識を習得する。

・到達目標（SBO）

1. 医療の進歩に伴う生命観の変遷を概説できる。
2. 医療における薬剤師の使命や倫理について概説できる。また、薬剤業務の中で起こりやすい事故事例をあげ、その原因と対策について説明できる。
3. 患者とのコミュニケーションとチーム医療に関わる倫理的な問題について概説できる。
4. 創薬研究（基礎研究、前臨床試験、治験・臨床開発）における倫理について概説できる。
5. 医薬品販売や地域社会での健康問題における倫理について概説できる。
6. 医薬品製造や医療行政における倫理について概説できる。
7. 遺伝子診断や遺伝子治療に関わる倫理的な問題について概説できる。
8. クローン技術や生殖医療に関わる倫理的な問題について概説できる。
9. ターミナルケア（終末期医療）・緩和医療に関わる倫理的な問題について概説できる。
10. 移植医療や再生医療に関わる倫理的な問題について概説できる。
11. 難病治療に関わる倫理的な問題について概説できる。

・講義日程

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
8/19	月	2	微生物薬品創薬学講座	上原 至雅 教授	創薬研究における医療倫理
8/26	月	2	臨床薬剤学講座	工藤 賢三 教授	医療現場での医療倫理（1）医療行為に関わる心構えと危機管理

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/2	月	2	創剤学講座	松浦 誠 講師	医療現場での医療倫理(2)患者とのコミュニケーションとチーム医療
9/9	月	2	薬剤治療学講座	三部 篤 特任教授	医薬品販売と地域社会における医療倫理
9/17	火	2	薬物代謝動態学講座	小澤 正吾 教授	医薬品製造と医療行政における医療倫理
9/24	火	2	分子生物薬学講座	前田 正知 教授	先端医療と医療倫理(1)遺伝子診断と遺伝子治療
9/30	月	2	生体防御学講座	大橋 綾子 教授	先端医療と医療倫理(2)クローン技術と生殖医療
10/7	月	2	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	先端医療と医療倫理(3)移植医療と再生医療
10/21	月	2	神経科学講座	駒野 宏人 教授	先端医療と医療倫理(4)ターミナルケアと緩和医療

・教科書・参考書等(教:教科書 参:参考書 推:推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	薬学生のための医療倫理	松島哲久 盛永審一郎 編	丸善 (定価 2,600 円)	2010
参	薬学生・薬剤師のためのヒューマニズム	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会編	羊土社 (定価 3,400 円)	2011
参	薬剤師とくすりとの倫理:基本倫理と時事倫理 改訂7版	奥田 潤、川村 和美	じほう (定価 2,625 円)	2007
参	ファーマシューティカル コミュニケーション: Pharmaceutical communication	日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会編	南山堂 (定価 3,150 円)	2007
参	遺伝医学への招待 改訂第4版	新川 詔夫、阿部 京子	南江堂 (定価 1,890 円)	2008
参	薬剤師のための倫理:ケーススタディーを中心に	ヴィーチ、ハダット	南江堂 (定価 3,150 円)	2001
参	スタンダード薬学シリーズ1「ヒューマニズム・薬学入門」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 4,410 円)	2005

・成績評価方法

出席状況、試験等により評価する。